

「情報A」学習指導案

日 時 平成20年12月17日(水) 5校時
 学 級 1年8組 美術科
 (男子5人,女子35人 計40人)
 場 所 パソコン室
 教科書 新版情報A(実教出版)
 指導者 教諭 小正好人

1 単元名

第4章 未来に向けて 第3節 ITがひらく21世紀 2 情報化の光と影

2 単元の学習目標

- (1) サイバー犯罪の実態を知り,その問題点や対策を考える。
- (2) ネットワークの故障や事故,健康への影響,雇用問題,情報格差について理解を深める。

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
情報化の光と影について関心を持ち,主体的に授業に取り組もうとする。	情報モラルを踏まえ,適切な判断ができる。	情報化の光と影についての学習ノートやワークシートをまとめられる。	情報化の光と影の具体例について理解できる。

4 指導と評価の計画(合計3時間)

時間	学習内容	学習の流れ	評価方法
2時間	コンピュータを利用した犯罪(サイバー犯罪) インターネットオークションの詐欺 アダルトサイトの架空請求 出会い系サイト サイバー犯罪	教科書P.133を学習する。 ビデオ「サイバー犯罪事件簿2「危険なアクセス」」を視聴する。 ワークシートを記入する。 新聞の切り抜きを活用した学習をする。 クイズを解く。 まとめをする。	記述の点検 ワークシート クイズ 授業態度
1時間	ネットワークの故障と事故,健康への影響,雇用問題,情報格差 ネットワークの故障と事故 健康への影響 雇用問題 情報格差 ユビキタス社会	教科書 P.134~135 を学習する。 雇用問題に焦点を当てる。 ユビキタス社会で新しく生み出される事業やサービスにどのようなものがあるかをインターネットを活用して調べる。 情報モラルチェックシートを記入する。 学習ノート p.43 を解いて,まとめをする。	記述の点検 ワークシート 情報モラルチェックシート 学習ノート 授業態度

5 本時の実際

(1) 単元名

情報化の光と影 (3 時間中 2 時間目)

(2) 本時の学習目標

サイバー犯罪の実態を知り, その問題点や対策を理解し, サイバー犯罪から身を守ることを認識すること。

(3) 本時の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
サイバー犯罪に関心を持ち, 主体的に授業に取り組もうとする。	サイバー犯罪の被害者にならないように, また被害に遭ったときに適切な判断ができる。	サイバー犯罪についてのワークシートをまとめられる。	サイバー犯罪の実態を知り, その問題点や対策を理解する。

(4) 研究テーマ「情報社会に参画する態度の育成をより重視した授業に関する研究」との関連

サイバー犯罪に関する学習を, ビデオ視聴, ワークシート作成, 新聞の切り抜き活用, クイズ解答, 個に応じたインターネットの活用を通し, 学ぶ意欲を喚起し, 情報社会に参画する態度を育成する。

(5) 生徒の実際

明るく素直で, 前向きに取り組んでいる学級である。美術科の生徒らしく 11 月に実施したパワーポイント活用の情報モラルのスライド作成においても, 美的センスの光るものが多く, 発表態度も高校生らしいものが多かった。また, 情報 A の授業に対して興味・関心を持っている生徒が多い (40 人中, とても好き 14 人, 好き 22 人。これからの生活にとっても役立つと思う 16 人, これからの生活に役立つと思う 23 人)。

(6) 授業の展開

過程	時間	主な学習活動	指導上の留意点と評価方法
導入	5 分	1 前時間の授業で視聴したビデオ「サイバー犯罪事件簿 2 “危険なアクセス”」(全 30 分間)の内容を振り返る。 インターネットオークションの詐欺 アダルトサイトの架空請求 出会い系サイト	サイバー犯罪が他人事でないことを説明する。 (評価)【関心・意欲・態度】 サイバー犯罪に関心を持ち, 主体的に授業に取り組もうとしているか。
展開	40 分	2 ビデオ「サイバー犯罪事件簿 2 “危険なアクセス”」の中で, 出会い系サイトに関する部分だけ再度視聴する (5 分間)。 3 ワークシート「ビデオ『サイバー犯罪事件簿 2 “危険なアクセス”』を見て 出会い系サイト」を記入する。 娘: 高橋愛美のどのような行為が問題だったのか。 犯罪者のどの行為が犯罪行為であったか。 どのような法律に抵触しているか。 自分が犯罪を犯さないためにはどうすればよいか。 被害に遭わないためにはどうしたらよいか。 被害に遭ってしまったらどうすればよいか。	特に, サイバー犯罪の被害者にならないために, また遭ったらどうすればよいかを考えながら視聴することを説明する。 (評価)【思考・判断】 サイバー犯罪の被害者にならないように, また被害にあったときに適切な判断ができるか。

展 開	40 分	4 ワークシートについて2～3人で話し合う。 「警察庁(サイバー犯罪対策)」Webページの「あぶ ない! 出会い系サイト」も閲覧する。	最初にパソコンを立ち上 げさせておく。 (評価)【技能・表現】 サイバー犯罪についての ワークシートをまとめられ たか。 (評価)【関心・意欲・態度】 サイバー犯罪に関心を持 ち、主体的に授業に取り組 もうとしているか。
		5 ワークシートの各問について、指名された生徒が、自 分の解答を発表する。	生徒を指名し発表させ、 解答の解説をする。
		6 新聞の切り抜きを活用して、プロフィールサイト(プ ロフ)が、「出会い系サイト」の代わりになっているこ との危険性を学ぶ。	チャット、電子掲示板、 オンラインゲームも同様の 危険性があることを説明す る。
		7 サイバー犯罪に関するクイズを考える。	解答の解説をする。
ま と め	5 分	8 教師の説話を聞く。 鹿児島県警察本部サイバー犯罪対策室からのファ ックス「松陽高校生へのメッセージ～出会い系サイト を利用した犯罪に巻き込まれないために～」を読み、 サイバー犯罪についての理解を深める。 「責任と判断力」を身につけることが大切なことを 認識する。	(評価)【知識・理解】 サイバー犯罪の実態を知 り、その問題点や対策を理 解したか。